

12月3日

今日オンライン授業をしていたら、どうやらホストファザーがイライラしていたみたいで、フィーにちょいと八つ当たりしていました。それは、フィーの携帯をリモートラーニングが終わるまで預かるというものでした。もちろんフィーは拒絶していました。預かる理由はフィーがオンライン事業中に携帯を使っていたからだそうです。でも、オンライン授業は大抵課題が配られてそれを終わらせる形なので時間が余ることもあります。フィーはその余った時間で携帯をいじっていたのにかわいそうな限りです。でも案の定渡していませんでした笑 僕にもなぜか知らないけどキレているように見えました。かなりイラっとしました。「俺らにこれ以上何を求めているんだ？なんでこんなふうにわざわざ振る舞うのだ？なんで自分の怒りを僕たちにぶつけるのか？」と心の中で思いました。午後にはクリステンがまた遊びに来ていました。で、僕たちも部屋のそとに出て、クリステンと一緒に話しました。クリステンが帰った後僕たちは、僕の部屋に戻りました。で、僕とフィーが話している時に、口論が聞こえて来ました。内容は、僕たちはクリステンとは話すけど、キアナと Aaron には話しかけないのがどうにも気に触るようです。彼らは、「なんであいつら俺らには話しかけないんだ？なんでクリステンだけなんだ？」とずっと怒鳴るような感じで言っていました。なんで僕たちが話しかけないかって？なんで僕たちがクリステンのことが好きかって？そんなの簡単なことです。夜飯がなかった時「インスタントラーメンも食材もなくかつ、店もコロナでしまっている時」に誰が僕たちを家に招いてご飯を作ってくれたのは誰か？それはクリステンとハンターだ。僕たちをいろいろな新しいところに連れて行ってくれたのは誰かって？クリステンとハンターだ。色々嫌なことがあったりした時に誰が同情してくれたって？クリステンとハンターだ。その他にも色々クリステンとハンターが僕たちのためにしてくれました。クリステンとハンターは僕たちのことが好きだしかつ可愛がってくれる。それに比べて Kiana はどうか。最初っから僕たちを邪魔者扱いして来た。それに、彼らに話しかけると言われても、正直話しかける機会がない。なんせ、いつもヘッドフォンを付けてゲームをしているし、話しかけにくい。でもなぜか知らないけど明日セントルイスにある遊園地に連れて行ってくれるらしい。久々に遊園地に行くから少し楽しみでもあります。

12月4日今日はオンラインスクールを終わらせてから遊園地に行った。夜になると氷点下になるからそーと一厚着した方がいいぞと言われました。約2時間かけて目的地につきました。コロナの影響で予約制しか入れないのでとても人が少なく、ほとんど全く待たずに乗り物に乗ることができました。Mr Freeze とかいうのが一番急な斜面を含んでるし、一番怖い乗り物だと Aaron 言っていました。でも実際乗ってみたら、全く怖いというものを感じませんでした。もっと強い刺激が欲しいと感じました。僕の感覚がおかしいだけなのか、それとも本当にあまり怖くない乗り物なのかよく分かりません。今日は Kiana と Aaron との距離を縮められた良い時間だったと思います。

12月5日

今日はイラージャのバースデーパーティーに行きました。行く途中車の中でホストファミリーが喧嘩していました。ホストファザーが車の中にかかっていた音楽が気に食わないと言って文句を言っていました。でもホストマザーはクリスマスだからこんな曲ばかりやでと言っていました。それでもまだ喧嘩みたいになっていました。だからフィーがこんなもので喧嘩せんでよくないですか。この曲楽しみましようよと言っていました。パーティー

一会場に着的たら、色々掃除から始めました。と言っても、掃除をしたのは僕とトリニティーと主役のイラージャだけでした。なんで主役のイラージャが掃除して主役じゃないやつがボール遊びをしているのか正直理解できませんでした。ファミリー行事だとしても、他の人がイラージャのパーティーを成功させるために掃除を率先してすべきだったと思います。その後、色々ダンスとかしていました。僕は簡単なダンスだけ参加させてもらいました。参加したというよりも、イラージャのお姉ちゃんが手を引っ張って輪の中に連れて行ったから踊りました。正直、色々なことにイライラしていたのであまり踊りたくなかったです。イライラしていたのはホストファミリーの事がメインでした。パーティーが終わった後、僕とトリニティーとフィーは会場から家まで歩いて帰らなくてははいけませんでした。トリニティーはホストマザーが僕にも「もう今から先に帰るけど歩いてかれる？」と聞いてたみたいだけど、多分僕ではなくトリニティーに話しかけてただけで僕には話してくれていなかったと思います。だから、「ホストマザー俺になんも知らせてくれなかったし。なんでこんな寒い中俺は道分からへんのに歩かなあかんの？」と思いました。最初から、迎えに来る気がないのなら僕たちに厚着をしろというべきだったと思います。凍えながら歩いて帰りました。

12月6日

今日はホストファザーがフライドチキンを揚げていました。で、僕たちに日曜ぐらいしか暇な時間ないし、できるだけ一緒に過ごしたいと言っていました。それを聞いて、少しびっくりしました。その後、トリニティーの家に行こうと思ったけど、きあなが風邪気味でコロナ検査に行ったから、家にいました。

12月7日

今日はリモートラーニングでした。相変わらずアサイメントがラップトップの画面上に送られて来た時間内に解くみたいな感じです。最近はまだ慣れて来たのもあって結構早く終わらせれます。そのあとはきあなが風邪気味なのでずっと家にいました。いっつも家族の誰かが風邪気味で僕とフィーだけがどこにも行けません。

12月8日

今日もいつも通りにリモートラーニングを終わらせました。

12月9日

今日は僕はトリニティーと会おうと思っていました。なぜならきあなも病気が治った感じに見えたので。そして今日は僕とトリニティーの少し大事な日でした。で、ホストマザーにトリニティーとハングアップすると言ったら、「キアナは風邪だったのよ。もしハングアップするとしても家の中に入ったらダメやからな」と不機嫌な感じだ言われました。それと同時に前に言われた事を思い出しました。それは、「トリニティーのベッドルームには入るな」という事です。前に言われた時、なかなか腹が立ちました。なんせヘラヘラしながら言われたし。正直馬鹿にされた気がしました。毎回トリニティーの家に行く時に言われていました。僕からしたらそんなこと知ったこっちゃない。トリニティーの親は別に部屋に入ってもいいよ、と言ってくれます。MNCCのオリエンテーションの時に習ったように、二人だけが部屋にいる時はドアをしっかりと開けてるし、トリニティーの妹もよく部屋

に来て話したりします。ホストファミリーが真面目な顔をして「部屋に入るな」と言ったならいらつかずに済んだけどへらへら馬鹿にするかのように言われたのはなかなか腹が立つものです。ホストマザーがいつも言う「あなたは disrespectful よ」と言う言葉をそのまま返したいものです。こっちは人はよく「disrespectful」と言う言葉をよく使います。日本で「無礼だ」と言う言葉はなかなか使われていないと思います。日本にはお辞儀などいろいろな面でアメリカと比べたら礼儀には厳しい国だと思います。僕からしたら少し不思議です。本当にホストファミリーが disrespectful という言葉を連呼しても良いのかと言うことに。

結局、僕はトリニティーとあいませんでした。僕が風邪気味だった時は、みんな知らない顔していろいろなところにショッピングとかに行ってくせに僕だけにはどうやらそれは許されていないようです。

12月11日

今日、昼間に Aaron が勝手に炊飯器を使っていたのと、ごま油を使っていました。それを見たフィーはイライラしていました。理由はお金を払ったのは僕たち二人だからです。しかも何も聞かずに勝手に使うのはすこしあまりいい気はしません。やっぱり、「シェア」と言う概念がアメリカ人にはあるみたいです。でも僕たちが彼らのものを使おうとしたら嫌な顔をします。僕は炊飯器を使われてもちゃんときれいに戻してくれるのら別に構わない。でも問題はぼくのごま油です。消費率がえげつない。米がめっちゃ油っぽいように見えました。このように毎回毎回大量の量のごま油を使ったら、すぐになくなってしまいます。小さいごま油のビンなのに4ドルぐらいかかりました。もちろん払ったのは僕です。このように毎回大量に使われたら僕の財布の中身が貧相になります。その後、トリニティーの家に行きました。やっぱりトリニティーの家の方が落ち着くように感じます。なんせ、トリニティーの家族はウェルカムな感じがして気分が良いです。トリニティーのステップダットが瓶の中に貯めているコインと一緒に数えてみました。そしたら、300ドル以上入っていました。とてもびっくりしました。ステイ先に帰って後ろ側のドアを開けようとしても鍵がかかっていた。そして、フロントのドアを開けても鍵がかかっていた。だからフィーの部屋の窓を叩いてフィーにドアを開けてもらいました。家のなかに入ると普通に Aaron が椅子に座ってゲームをしていました。そして、Kiana はそれをみていました。僕がドアを開けようとしたら犬が吠えます。だからみんな僕が帰って来たことを知っているはず。フィーは自分の部屋で電話をしていたから聞こえなくて普通だけ他のメンバーは絶対聞こえているはず。普通に無視されました。向こうは僕たちとの距離を縮めたいと言う割には日々僕たちと彼らの間に溝を作っているようにみられます。なかなか面白いものです。そして、いつものように彼らは深夜1時ぐらまでゲームをしながら発狂していました。フィーには、ケータイがフィーの睡眠を邪魔しているからスマホをキッチンに11時になったら置けというくせに彼らにはそんなくだらないルールはないみたいです。フィーが睡眠不足になろうがならまいが、全部フィーの責任だし、フィーの成績はほとんどAをキープしてるから問題はありません。それどころか、彼らが夜遅くまでゲームをしながら発狂している方が僕たちの睡眠を妨げています。そして、ホストマザーはフィーにスマホが勉強には良くないと遠回しで言ってる割には自分の孫にはケータイを渡してずっとゲームやら、YouTubeを見せしています。矛盾が生じています。でも僕はそれを指摘しません。皆さんもわかるように、もし僕が指摘したら、「あなたは無礼だわ。

そして私達を尊敬してないわ。それと、あなた達はここが嫌いなように見えるみたいだし国に帰るべきだわ、いや、今すぐ荷物をまとめてちょうだい」と言い出すからです。明らかに向こうに問題がある時にもこのようなことを言われます。理不尽なことは世の中たくさんあるのだと改めて実感しました。毎回僕は、僕たちが住む世界はきれいに見えるけど実際は汚れているのだなと感じます。

ずっと前から考えていたけど、唯一きれいなものといえば、自然とほんのたまにみれる人の偽りのない良心ぐらいしか見当たりません。まだまだ、僕の宝探しは続きそうです。

12月12日

今日は昼ごはんを自分で作ってみました。炊飯器を買ったので白ごはんが使えます。なので僕はオムライスを久しぶりに作ってみました。中々良くできたと思います。そのあと、トリニティーと一緒にトリニティーの友達の家に行きました。僕合わせて8人いました。こんなこと言うのもなんだけど、僕以外みんな白人だったのでなんか知らないけど変に感じました。アメリカに来てから人種というものに敏感になった気がします。みんないい人でした。そしてみんな僕より年上に見えるけど、僕より2つ3つ下なのが驚きです。トリニティーの隣に座っていた女の子が僕の歳を聞いて驚いていました。僕が一番若く見えると言っていました。正直嬉しいのか嬉しくないのかわかりません。自分の年よりガキに見え

るのか、それともいいふうに見えるのか疑問が残ります。友達の家は予想通りとてもデカかったです。みんなでせっかく集まっていたのに、やっぱり何人かはケータイを当たったり、一部の人だけで話したりと、みんなでいる時間を無駄にしているようにみられました。中々、意識を人にむけていませんでした。日本でもよくみられる光景ですが、アメリカだとより多くみられる光景だと感じました。帰りにトリニティーの家へ寄って、本を4冊借りました。Miss Peregrine's peculiar childrenの続きをトリニティーは持っていました。日本にいる時に第一作話読んで中々面白いと思ったので自分のお気に入りです。3冊は普通の本だけど1冊は BTSの本を借りました。別の言い方で言うと、トリニティーに持って帰させられました笑トリニティーは BTS が大好きで良く BTS の話をして来ます。全く BTS のことは興味がなかったので全く話がわかりません。ステイ先に戻って、キッチンでラーメンを作っていたら、キアナが辛い韓国のインスタントヌードルをくれました。今日のホストファミリーは優しく感じます。やっぱりいい時と悪いときでの波がある気がします。やっぱり一緒に暮らせば、波は出てくるものなんだと感じます。

12月13日

今日はホストファザーとイラージャとちびっ子とフィーと一緒にホストファザーが子供時代によく行っていた場所に一緒に行きました。森の中を歩きました。そして、木の綱みたいなのが木からぶら下がっていました。そして、ホストファザーがターザンできると言っ

てその綱にぶら下がってターザンをしようと思いました。案の定綱が切れてホストファザーがひっくり返りました。さすがに面白かったの吹きました。みんなも笑っていました。その後、みんな木を引っこ抜こうとしたり、ターザンしている時に転びました。ちびっこは疲れたのか知らないけど、途中芝生に寝っ転がって寝ようとしていました。家に戻った後、かなり疲れていたの少し休みました。そして夜、Aaron が一緒にマリオカートをしよ

うと誘って来たので一緒にマリオカートをしました。僕が毎回1位を独占していました。

なんせ、日本にいる時はお兄ちゃんと一緒に夏休み毎日マリオカートをしていたからです。Aaron が「翼のお父さんがマリオカート作っただろ。初めて自分を打ち負かす人であった」と言っていました。みんなの距離が一気に近くなった気がします。マリオカートを作った日本を誇りに思います。

12月14日

今日は部屋にいて課題をしていたら、どうやらホストファザーが不機嫌で僕たちに課題はキッチンで白と言って来ました。別にキッチンですするのに抵抗はないけど、少し子供がうるさい気がします。ホストマザーはそれを理解していて、それをホストファザーに伝えてくれていました。そのおかげで、自分の部屋でできるようになりました。そもそもなんでホストファザーが怒っていたのかと言うと、フィーが授業があるのにもかかわらずずっと寝ていたからです。フィーのせいで僕もなぜか知らないけど問題に巻き込まれてしまいます。ホストファミリーもホストファミリーで僕がフィーと同じでないことぐらい考えて欲しいところです。まず国も文化も、見た目も言葉も人生背景も全て違うのにと感じてしまいます。昼ごはんを食べる前にホストファミリーみんなが家を出て行き僕とフィーだけの時間になりました。フィーが「翼、この前俺がホストファミリーと AC とまた話し合いがあったの知ってる？」と聞いて来ました。そんなこと何一つ知っていませんでした。なんせ僕はその時、トリニティーと一緒に友達の家に行っていたからです。何でそんな話し合いになったのかと言うと、フィーがちびっこからハイタッチを求められても無視したり、ちびっこに優しくしないからです。Aaron と Kiana が無視したのをみて、怒ったそうです。それからドンドン発展して行き、ホストマザーとホストファザーにも伝わり、結果話し合いが行われたそうです。僕がフィーに「誰かまた、『あなたは無礼だわ、そして国に帰ったほうがいいわ』って言った？」と聞きました。そしたら案の定ほぼみんながそう言っていたそうです笑笑僕はその場になくて本当にラッキーだったなと思いました。僕がいたら、僕はこどもには優しくしているし、他の人と話すときも喧嘩腰で話してないし僕が責められる理由がないけど僕までも責められる可能性が高いので。僕はどうやら、お子様ランチについてくるおもちゃのおまけのようにフィーのおまけのように感じてしまいます。一応、フィーには子供には優しくしておけと言っておきました。その後、店に行ってプレゼントを入れる箱みたいなのを探したけどありませんでした。なんにしる欲しいものは中々見つかりません。夜、今日はトリニティーを呼びました。Aaron がチャーハンを作っていました。適当に調味料をぶっ込んでいました。でも意外にも美味しかったです。その後、みんなでまた一緒にマリオカートをしました。トリニティーは僕がマリオカートが得意なことに驚いていました。

12月15日

今日はイラージャとイラージャのお姉ちゃんに来ていたので一緒にマリオカートをしました。イラージャの姉ちゃんはマリオカートが得意だと言っていたけど、十中八九僕が勝利をおさめました。そして、夜雪が降っていました。

12月16日

今日朝起きて窓の外を見ると雪が積もっていました。雪だるまを作りました。そしてその後、ベルギーの留学生のルイとルイのホストブラザーと一緒に彼の家に行き、同じ時を過

ごしました。そして、僕とフィーは料理をしました。僕はオムライスを作りました。フィーはチャーハンを作っていました。みんなお腹が空いていたので結構食べていました。その後、ルイのホストブラザーはバイトに行っていました。ルイのホストファミリーのガレージを見ました。そしたらそこにいっぱいトラックがありました。家はおそらく新築なのでとても綺麗で、小さな子供がいないし、犬も一匹だけなのでとても静かで良い空間でした。僕のホストファミリーの家は子供が常に喋っているし、犬も四六時中吠えているので静かでゆったりとした時間が過ごせません。フィーはまたルイのホストファミリーの家の中にあるものを何も聞かずに触っていました。ダイソンのエアコンとかどうやら見たことがないみたいで、勝手に電源を入れたりとかかなり品のないことばかりしていました。いつも誰かの家に行くと、目に留まったもの全てに手を伸ばし、出したら出したまんま、そのまま放置です。それプラスレッドヘアの人がいたりしたら、その人の髪を触ろうとします。何回も、周りの人に、「それは失礼極まりないからやめろ」と言われているのに関わらず同じ過ちを繰り返します。正直、一緒にいる自分も恥ずかしく感じます。周りの人に「アジア人はみんなこんなかんじなんだな」と思われるのはごめんです。それどころか、「隣にいる日本人もこんな感じなんだろう」と思われるのはさらにごめんです。僕は人のものは勝手に触らないし、人の体や髪など無論触らないです。そして、ルイのホストファミリーが夜の 8 時ぐらいに帰って来て、それから家まで送ってもらいました。

12月17日

今日はなぜか知らないけどとても眠い1日でした。ご飯を食べて Aaron と Kiana と一緒にウォールマートに行きました。僕はホストファミリーへのプレゼントとして、クリスマスのお菓子をいくつか書きました。それとトリニティーにはすでにプレゼントを買っているのでそのプレゼントを入れる袋を買いました。

12月18日

今日は嫌なことがたくさんありました。でも良いことも少しありました。

12月19日

今日は近所に住むおぼちゃんの引っ越しの手伝いをしました。色々と家具を運びました。でも計画が全く建てられていなかったのでも、運んではどこに置くか考え時間がかなりかかりました。まず冷蔵庫の中身も出していなかったみたいでそれも時間がかかりました。そしてフィーと家具を運んでいる時、フィーが急に何も言わずに家具を下に落としたから少し危険だったし焦りました。「なんか言えよ」とだけ言いました。合図も何もなく下すなど危険です。恐らくベトナムにはそのような合図をかける習慣がないのではないかなと、彼の行いを見て感じます。イラつきました。家具を中に入れたのは良いんですが、家の中も整理されてなく正直置く場所が見当たりませんでした。もうちょい計画を立ててくれてもよかったのではないかなと思います。そして、夜僕が地球儀を見ていると、ホストマザーに「ホームシックになったの?」と言われました。僕は全くホームシックになっていません。僕が恋しいのは寿司とラーメンとうどんです。ホストファザーが急に戦争の話をしていました。ベトナム戦争と日米戦争の話でし

た。意外にもホストファザーは日本のことをボロクソ言うのではなく逆に少し褒めていたように伺えます。僕があったアメリカ人で、戦争の話をする「日本が先にアメリカを攻

撃したから、日本はボコされたんだ」と言う人が多く見られました。そしてその他にも話をしました。距離が縮まった気がします。

12月20日

今日は夜にトリニティーが家に来ました。どうやら家におりたくないようです。そして夜の11時半まで一緒に時を過ごしました。イラージャとトリニティーと僕とフィーで映画を見ました。ホラー映画を見たけどとてもつまらなかったです。なんかコメディイのように感じました。なんせ内容がふざけているように見えたからです。

12月21日

今日は大きなショッピングモール行きました。イラージャのスマホを直しに行くついでに行きました。なんかやっぱり僕のために僕をショッピングに連れて行ってきているのではなく、イラージャの付き添いでいってるかのように感じました。そんなこと考えないようにしてもやっぱり考えてしまいます。少し店を見る時間があったので店を見て回りました。そしていくつか欲しいものがあったので少し買いました。

12月22日

今日はまたベルギーからの留学生のルイと一緒に遊びました。トリニティーも呼んで遊びました。トリニティーが BTS の UNO を持って来ていて、それをフィーとルイが見ていました。そして、韓国人は全て一緒に見えるとフィーとルイが言っていました。それをきいてトリニティーがみんな違って見えると反論していました。そしてそんな感じの言い合いが少しの間続いていました。そして少しヒートアップしていました。そして今日はルイのホストブラザーのカーターが料理を作ってくれました。中々美味しかったです。その後、ボードゲームをしました。その後、家に帰りました。家に帰ってまだ時間がかなりありました。だから映画を見ました。途中で寝落ちしていました。そしてトリニティーが帰る時に起こされました。その後、また眠りに落ちました。で、目が覚めたら朝の6時ごろでした。そしてまた眠りにつきました。

12月23日

今日は近くにあるスーパーみたいなところに行って、トリニティーとホストファミリーへのクリスマスカードとプレゼントを包む髪を買いました。そして家に帰ってからどのように包むか考えていました。折り紙で真四角の手紙入れを作ってその中に手紙を入れておきました。そしてプレゼントを包んで、クリスマスツリーが描かれている袋に入れとききました。かなり時間がかかりました。でも熱中できるものに出会えてよかったです。みんなが喜んでくれたら良いなと感じます。

12月24日

今日はクリスマスイブです。朝起きてホストファミリーと一緒にパイとピクルスをハムで包んだものを一緒に作りました。その後、クリステンの家に行きました。そして一緒に、**what do you meme?**と言うカードゲームをしました。その後、家に帰ってトリニティーを呼んで一緒に時を過ごしました。そして、「今際の国のアリス」と言う日本のドラマみたい

なのが面白そうとトリニティーとフィーが言っていたのでリビングで一緒に見ました。初めてそんなドラマがあると知りました。かなりグロいけど中々面白かったです。

12月25日

今日はクリスマスです。朝起きてホストファミリーからプレゼントをもらいました。日々使える日用品をもらいました。一番使い道がるものをもらえてよかったです。そして、本当はトリニティーとプレゼントの交換を自分たちだけでしようと思っていたけど、ホストファミリーがみんなの前でして欲しいとうるさく感じたのでみんなの前でしました。なぜ僕が二人だけで磯下に交換をしたいかと言うと、周りの反応が怖いからです。トリニティーがくれたプレゼントの中には写真に沿って縫って作った写真「portrait」が入っていました。おそらく相当時間がかかったと思います。なんせ、初めてこのようなものを作ったみたいなので。とても嬉しかったです。でも、僕は嬉しい感情を表に出すのが難しいのでうまく嬉しさを表に出せたかはよくわかりません。日本に帰って自分の部屋に飾るのが楽しみです。僕があげたプレゼントは喜んでもらえた気がします。特にアボカドのキーホルダーを気に入っているように見えました。それと後から話しているのを聞いて気づいたことなんですが、人にもよりますがアメリカ人はプレゼントにあまりお金をかけない気がします。日本の高校生とかは女の人にプレゼントをあげるときは比較的高価なものをあげる傾向にあります。実際に僕の友達も3万以上するものをあげたりしています。こっちに来ると、円ではなくドルを使うし、数字が小さく表記されるので「例えば10000円が100ドル」普段だと高いと感じるものも安く感じてしまうことがあります。ニュージーランドに行った時にも感じました。それと、外国にいと、お土産感覚に陥るのも原因だと思います。これからは、もう少しケチケチして行こうと思います。